

第4期（平成27～29年度）

東部ブロックまちづくり計画

みんなで守る豊かな自然と文化が息づくまちを目指して



富山町 ヤマメのつかみどり



朝山町 島津屋海岸



波根町 キャンドル財団 in 波根海岸



久手町 清滝

東部ブロックまちづくり委員会

平成27年3月

目 次

第1章 第4期計画の策定にあたって	…	1～1
第2章 東部ブロックの現状		
1. 東部ブロックの概要	…	1～1
2. 人口	…	2～2
3. 地域資源		
(1) 自然	…	2～2
(2) 歴史	…	3～3
(3) 文化	…	3～3
(4) 産業・交通など	…	3～4
(5) 教育・福祉など	…	4～6
第3章 地域でのこれまでの取り組みと今後の課題		
1. 地域でのこれまでの取り組み	…	7～7
2. 今後の課題	…	7～8
第4章 まちづくりの基本方針と事業展開		
1. まちづくりの基本方針	…	8～8
2. まちづくりに向けた事業展開	…	8～8
第5章 まちづくりの事業内容		
1. 具体的推進策	…	8～9
2. 推進体制	…	9～9
3. 第4期事業計画	…	10～10

2. 人口

東部ブロックの人口は、平成22年の国勢調査で6,936人と、5年前より552人の減少(△7.4%)となっていますが、中山間地域では、その減少率はさらに高くなっています。

また、65歳以上の老年人口は総人口の3割を占める一方、14歳までの年少人口比率は15%を大きく下回り、少子高齢化の傾向はより強まっています。

特に、中山間地域を中心に、高齢化率50%に達する集落が増加傾向にあり、集落活動の維持すら困難な地域が出現しつつあります。

◆地区別人口・世帯数

各年10月1日現在（単位：人、世帯）

地区別	平成17年				平成22年				増減 H22/H17	
	人口			世帯数 x	人口			世帯数 y	人口 b/a	世帯数 y/x
	総数 a	男	女		総数 b	男	女			
富山町	705	335	370	241	626	299	327	233	88.8%	96.7%
朝山町	625	288	337	212	590	268	322	203	94.4%	95.8%
波根町	1,560	743	817	521	1,425	669	756	483	91.3%	92.7%
久手町	4,598	2,089	2,509	1,618	4,295	1,984	2,311	1,561	93.4%	96.5%
ブロック 小計	7,488	3,455	4,033	2,592	6,936	3,220	3,716	2,480	92.6%	95.7%
旧大田市 小計	32,337	15,079	17,258	11,463	30,364	14,245	16,119	11,196	93.9%	97.7%
大田市 合計	40,703	18,897	21,806	14,804	37,996	17,761	20,235	14,312	93.3%	96.7%

資料：国勢調査

3. 地域資源

(1) 自然

朝山町から久手町にかけての海岸線は、岩海苔の採れる島津屋海岸から始まり、岩場が多く、「立神岩」、「千俵隠し」、市指定名勝「掛戸松島」、国指定天然記念物「波根西の珪化木」など数々の絶景が見られます。こうした自然の地形を活かし漁業が営まれています。久手港海岸に広がる砂浜は、海水浴場として県内外から多くの海水浴客が訪れています。

また、平坦部から中山間地域に向けて、起伏に富んだ山肌に棚田が広がり、田舎の原風景とも言える景観を見ることができます。

さらには、桜の名所として知られ、眼下には日本の原風景を見ることができる「要害山」や20mの断崖から落下する豪快な「清滝」は、憩いの場として多くの人に親しまれています。

(2) 歴史

東部ブロックは、出雲の国と石見の国の境界にあり、波根町には、奈良時代「波祢駅亭」が置かれるなど、交通の要衝として栄えました。

また、石見銀山の発展とともに、朝山町には、天領石見銀山の東の玄関口であったことを示す「島津屋口番所跡」、富山町には、尼子氏と毛利氏の銀山争奪戦の舞台となった「要害山」があり、中近世の歴史を現在に伝えています。

(3) 文化

東部ブロックでは、地域固有の歴史や文化に根付いた盆踊りや神楽、祭りを地域住民が守り伝えています。久手町の港まつりは50年以上の歴史を有し、昭和59年からは市民の祭り「天領さん」に位置づけられ、市内外から多くの人々が訪れ、盛り上がりを見せています。

また、伝統芸能としては、富山町で、約30年前に田植え囃子保存会を結成し、田植え囃子の保存に取り組み、子どもへの伝承活動も精力的に行われています。

(4) 産業・交通など

大田市の産業は、農林漁業を中心とする第1次産業、窯業や製造業等の第2次産業、商業やサービス業等の第3次産業が相互に関連し、成り立っています。東部ブロックは、日本海に面した地形を活かして漁港や港湾が整備され、漁業が営まれています。海岸から内陸にかけては、かつての「波根湖」を干拓してできた平地には、市内でも有数の田代が広がり、稲作のほか、ハウス栽培がおこなわれています。また、鳥井町鳥越、波根町には工業団地が造成され、各種工業が操業しています。朝山町から富山町にかけての中山間地域は、起伏に富んだ山肌に棚田がならび、稲作や和牛繁殖がおこなわれています。

海岸線に沿って国道9号があり、その国道を中心に県道や市道等が連結しています。現在、国道9号に並走する山陰道が大田市管内で事業化され、東部ブロック内では「多伎・朝山道路」「朝山・大田道路」の整備が進められています。

◆産業(3部門)別就業者・割合、従業上の地位(2区分)別割合

地区別	産業3部門別 就業者			従業上の地位別割合		年齢3区分別 人口		
	平成 22 年			雇用者	自営業主・ 家族従業者	0～14歳	15～64歳	65歳以上
	第1次	第2次	第3次					
富山町	102	74	122	62.0	38.0	43	296	287
朝山町	40	84	126	76.0	21.0	71	298	221
波根町	86	155	379	80.4	19.6	164	721	540
久手町	165	664	1,288	82.6	17.4	549	2,459	1,286
大田市合計	1,985	4,765	11,130	80.4	19.6	4,372	20,456	13,162

資料: 国勢調査

◆農家数・農家人口・経営耕地面積・経営耕地面積規模別農家数(販売農家)

平成22年2月1日現在

地区別	農家数(戸)				農家人口(人)			経営耕地面積(a)			
	総数	専業	兼業		総数	男	女	総数	田	畑	樹園地
			第1種	第2種							
富山町	96	40	5	51	312	163	149	10,865	7,605	3,135	125
朝山町	35	8	2	25	155	78	77	2,611	2,242	299	70
波根町	19	5	3	11	69	33	36	1,460	1,374	80	6
久手町	93	24	8	61	342	163	179	14,614	13,646	636	332
小計	243	77	18	148	878	437	441	29,550	24,867	4,150	533
大田市合計	1,436	428	110	898	5,094	2,567	2,527	140,285	113,379	21,594	5,312

注：販売農家＝経営耕地面積が30アール以上又は、農産物販売金額が50万円以上の農家

資料：2010年世界農林業センサス

◆観光客入込状況

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
大田市海岸	106,200	104,700	26,900	6,730	9,300
大田市合計	1,561,900	1,573,600	1,511,889	1,434,135	1,556,339

注：大田市海岸の入込数は平成24年より3海水浴場のみ(琴ヶ浜含む)で釣り人含まず

資料：大田市観光振興課

(5) 教育・福祉など

平成21年度から、各町に設置されていた公民館が「まちづくりセンター」に変わり、新たにブロック単位に、学校・家庭・地域が連携した事業や社会教育を専門的におこなう施設として公民館が設置されました。東部ブロックには、久手まちづくりセンター内に「東部公民館」があり、各種講座や研修会の実施、学社連携機能を充実する活動などを行っています。

幼稚園は久手幼稚園があります。富山幼稚園は少子化により平成19年度から休園中です。小学校は、久手小学校と朝波小学校があります。学校再編により、平成5年4月に朝山小学校と波根小学校が統合し、朝波小学校ができ、平成25年4月には富山小と朝波小が統合し、新朝波小が誕生しました。中学校は、第二中学校があります。

保育園は、波根保育園と久手保育園(指定管理)があります。

◆まちづくりセンターの概況

施設名 所在地（大田市）	構造 建築年	面積 収容人数	備考
富山まちづくりセンター 富山町山中1740	鉄骨2階建 昭和56年	349.6㎡ 300名	
朝山まちづくりセンター 朝山町朝倉420-1	木造平屋 昭和62年	216.78㎡ 118名	平成11年度増築
波根まちづくりセンター 波根町1751-2	木造平屋 昭和26年	694.7㎡ 300名	波根小学校を改修(S52.12)
久手まちづくりセンター 久手町波根西1748	鉄骨2階建 昭和58年	516.0㎡ 400名	

資料:大田市地域振興課

◆小中学校の児童・生徒数及び学級数、幼稚園児数の一覧

毎年5月1日現在

学校名		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
東 部	久手小	223	223	223	210
	朝波小 ※	99	101	118	118
	富山小 ※	22	20	-	-
	小計	344	344	341	328
大田市小学校計		1,787	1,794	1,770	1,733
第二中		276	280	263	245
大田市中学校計		937	922	918	895
久手幼		20	29	21	19
大田市幼稚園計		104	111	95	79

※ 平成25年4月1日、富山小と朝波小が統合し、新朝波小が誕生

資料:大田市教育委員会総務課

◆保育所園児数

平成26年4月1日現在

町別	施設名	区分	定数	在園児数
波根	波根保育園	大田市立	60	53
久手	久手保育園	大田市立	90	93

資料:大田市子育て支援課

◆福祉関係の統計数値

平成26年4月1日現在

区 分		富山	朝山	波根	久手	ブロック計	大田市計
世帯数	a	251	204	542	1,750	2,747	16,096
人口	b	608	539	1,370	4,297	6,814	37,568
65歳以上人口	c	295	232	524	1,333	2,384	13,449
高齢化比率	d=c/b	48.5%	43.0%	38.2%	31.0%	34.99%	35.8%
独居老人数(=世帯数)	e	65	41	138	321	565	3,166
独居老人比率(対世帯数)	f=e/a	25.9%	20.1%	25.5%	18.3%	20.57%	19.7%
独居老人比率(対人口)	g=e/b	10.7%	7.6%	10.1%	7.5%	8.29%	8.4%
独居老人比率(対65歳)	h=e/c	22.0%	17.7%	26.3%	24.1%	23.70%	23.5%
6歳未満人口	j	7	19	49	215	290	1,573
幼年者比率	k=j/b	1.2%	3.5%	3.6%	5.0%	4.3%	4.2%

資料:大田市市民課/社会福祉課

第3章 地域でのこれまでの取り組みと今後の課題

1. 地域でのこれまでの取り組み

平成18年度に策定した「まちづくり計画」に基づき、「みんなで守る豊かな自然と文化が息づくまちを目指して」をテーマに取り組んできました。第1期から第3期までの9年間の総括として、これまでの取り組みを振り返り検証しました。

(1) 自然環境の保全・美化活動と地域資源を再認識する活動を積極的に行うまちづくり

ふるさとの川や海岸を守り、自然環境をブロック共通の財産として守っていくために、ブロック内で清掃活動を実施しています（平成19年度～）。また、富山町では清掃活動にあわせヤマメの放流をおこない、ヤマメのつかみどりの体験イベントには、ブロック内外からたくさんの方が参加があります（平成21年度～）。

一方、ブロック内に点在する自然・文化遺産等を巡る「大人の遠足」を、各地を会場として実施し、歴史にふれる活動もしています（平成23年度～）。

これまで、自然環境の保全・美化活動に関するさまざまな活動をしてきたところ、一定の成果がみえるので、今後も継続した活動が必要です。

(2) 文化や伝統芸能の保存・伝承活動を積極的に行うまちづくり

伝統ある地域の盆踊りを後世に継承するための取り組みとして、映像で記録・保存するなどの盆踊り保存事業を実施しています（平成22年度～）。口説き手・踊り手などの後継者育成と、参加者を増やすための取り組みをしていくことが必要です。

(3) 地域力の醸成を積極的に行うまちづくり

各地域で実施してきた「人権啓発の推進を図るための研修会」や「食育推進事業」を、平成26年度からブロック全体で行うこととしました。また、地域の情報発信のために「まちづくりニュースの発行（平成19・20年度）」、「大田地域東部ブロックだより・はあとくらぶの発行（月一回全戸配布、平成21年度～）」をしています。しかし、だれもが積極的にまちづくりに関わるという意味では、道中途の状況です。今後も継続して、はあとくらぶの発行や研修会等を開催し、まちづくりへの関心を高め地域力醸成に努めます。

2. 今後の課題

東部ブロックまちづくり委員会では、当該地区のまちづくりに関する住民ニーズを把握するため、平成25年2月にブロック内全戸を対象としたまちづくりアンケートを実施しました。今後のまちづくりを進めるために取り組むべきこととして、「環境美化活動」、「伝統文化の継承・振興」、「観光資源の活用」、「地域活性化の組織づくり」、「防災活動の充実」への関心が高く、取り組みが必要であるという結果でした。

これまで実施してきた取り組みとアンケート結果から、今後も自然環境の保全や文化

の伝承、地域住民の地域力醸成に努めることが東部ブロックの課題です。そして、4町がブロック共同での地域づくりを目指していくことも課題です。

これらの課題を解決し、地域住民の知恵と力で、豊かな自然と受け継がれてきた文化を将来に引き継いでいくための取り組みを進めていきます。

第4章 まちづくりの基本方針と事業展開

1. まちづくりの基本方針

東部ブロックには、豊かな自然と受け継がれてきた文化があります。この自然と文化は、今まで培った知恵や経験を持つ高齢者をはじめとする地域を愛する人々によって守り伝えてきた貴重な地域資源です。

東部ブロックのまちづくりの将来像は、「みんなで守る豊かな自然と文化が息づくまち」とし、次代を担う子どもたちが住んでよかったと思えるまちづくりのために、住民一人ひとりが貴重な資源である豊かな自然と文化を守り、地域力の醸成を推進します。

2. まちづくりに向けた事業展開

- (1) 自然環境の保全・美化活動と地域資源を再認識する活動を積極的に行うまちづくり
地域に残る自然、名勝、史跡を親しむ環境をつくとともに、自然環境の保全・美化活動を積極的に行います。
- (2) 文化や伝統芸能の保存・伝承活動を積極的に行うまちづくり
地域の祭りや盆踊り、神楽、田植囃子など地域に引き継がれてきた文化、伝統を保存継承します。
- (3) 地域力の醸成を積極的に行うまちづくり
各種研修会等の開催により地域力の醸成に取り組みます。また、情報や課題を共有するために、積極的な情報発信を行います。

第5章 まちづくりの事業内容

1. 具体的推進策

- (1) 自然環境の保全・美化と地域資源を再認識する活動を積極的に行うまちづくり
みんなでごみのない住みよい町をつくるため、各地域で取り組んできた活動を継続、発展させ、さらに、地域間の連携を強化します。

- 自然環境保全事業
- ふるさと景観美化活動
- 地域資源の価値を再認識する活動

(2) 文化や伝統芸能の保存・伝承活動を積極的に行うまちづくり

先人の知恵や経験で受け継がれてきた文化、伝統は地域の固有の財産です。親から子へ、子から孫へ受け伝えていくことは、我々の責務です。各地域で取り組んできた活動を継続するとともに、次代を担う子供たちを巻き込んだ活動に発展させていきます。

- 地域に息づく文化伝承事業

(3) 地域力の醸成を積極的に行うまちづくり

地域のまちづくりに取り組むリーダーの育成やまちづくりへの関心を高める取り組みを行い、地域力の醸成に努めます。また、まちづくりを進めるには情報や課題を共有することが必要なため、積極的な情報発信を行います。

- まちの地域力醸成事業
- まちづくり情報配信事業

2. 推進体制

東部ブロックまちづくり委員会は、地域でのまちづくりへの機運を高め、ブロック内の連携を図りながら、活動を進めていきます。

個々の具体的な取り組みについては、各地域で取り組んできた活動を尊重し、まちづくりセンターやブロック公民館、自治会などまちづくりグループと連携しながら取り組みます。

なお、ブロック内での活動の連携や広域化に向け、まちづくり委員会は検討、調整を行っていきます。

3. 第4期事業計画

具 進 策 的 推	事業名	事業概要	計画期間		
			H27	H28	H29
(1) 地域資源を再環境の保全・美化と	自然環境保全事業				
	芦谷・下才坂地区のヤマメ放流（富山）	芦谷・下才坂に流れる川にヤマメを放流し、釣りやつかみどりを通して自然に親しみ、世代間交流をおこなう	○	○	○
	景観保全事業	休耕地等に景観作物を栽培するなど、景観・環境保全と住民意識の啓発を図る	○	○	○
	ふるさと景観美化活動				
	海岸清掃作業	地域住民等が海岸の清掃活動を行い、環境問題に対する意識の醸成を図る	○	○	○
	まちの奉仕作業	地域住民が川や景勝地等の清掃活動をおこなう	○	○	○
	地域資源の価値を再確認する活動				
	「みんなの遠足」	東部ブロックに点在する自然・文化遺産等を巡り、その価値を再認識し、保全に向けての意識啓発のきっかけとする	○	○	○
(2) 文化伝承	地域に息づく文化伝承事業	地域住民が一堂に集う行事として開催されている盆踊りを後世に継承するための支援をおこなう	○	○	○
(3) 地域力の醸成	まちの地域力醸成事業	地域住民の人権啓発、食育推進、防災に関する研修会の開催や健康増進のための事業等をおこなう	○	○	○
	まちづくり情報配信事業	「大田地域東部ブロックだより・はあとくらぶ」の発行（月1回全戸配布）	○	○	○